

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-5	利用者が地域社会の一員として生活するための支援を行っている
タイトル①	Sフォント「産官学福」連携で障害者の才能を認め豊かな地域社会の醸成に繋がっている	
内容①	<p>利用者の絵や図を見て、その才能を見出しSフォントデザインとして商品化することで一般企業等が活用し、地域社会の豊かで温かい社会文化醸成に役立っている。事業所と区の支援、デザイン企業、学生が協力し合い、障害者の才能や人格を尊重する運動で区の誇りとも言える活動である。評価者の訪問時に2人の利用者が絵や図を書いている場面を観察させて頂いたが、2人とも自慢して絵を見せてくれて、皆に認められることがとても嬉しそうで自信に溢れた姿であった。また、この運動に参加する方々の幸せにも繋がっている運動と思える。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	利用者が主体性を持って、充実した時間を過ごせる場になるような取り組みを行っている
タイトル②	それぞれの利用者の個性や能力を発見し、自主性や主体性につなげる支援を行っている	
内容②	<p>職員は、毎日の利用者とのコミュニケーションのなかから、一人ひとりの思いに耳を傾け、興味や関心をつかんで、その人らしい個性や能力が発揮できるよう支援している。それぞれの人が意欲的に取り組めること、毎週の美術（アート）やスポーツのクラブ活動、絵画や刺繍などの創作活動、それらを活かした自主製品づくりなど、多様な活動を提供する工夫で、利用者の意欲や主体性につなげている。特に、利用者の描いた文字や絵柄のデザイン化を商品開発につなげている取り組みは特筆される。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	利用者の意向を尊重しつつ、個別状況に応じて家族等と協力して利用者の支援を行っている
タイトル③	職員との信頼関係が利用者の安定した毎日につながっている	
内容③	<p>利用開始時には、新卒で入所する利用者や、社会体験を経て利用に至る利用者など、それぞれの状況の違いが大きい。家族と一緒に面談するなかで個々の利用者の経験や希望を聞き取るとともに、入所時アセスメントを行い、施設での支援の実際が分かるように、個々に応じた丁寧な実習の受け入れを行っている。個別の面談と連絡帳や電話を通して、家族と日常的な連携を密に取っている。家族からは職員とは、体調の変化や生活のことなど、なんでも話せると言ってもらえている。安心と信頼の関係が利用者の安定した毎日につながっている。</p>	